

切り口を
左右内側に立て
神様の居場所を
つくる



松

永遠の命を
象徴する
神様が宿る木



梅

梅の花を
かたどった
結び目



竹

長寿や
象徴的生命力の
象徴



竹は2~3年生で、外皮は青々と鮮やか。
内皮はつやのある乳白色

新しい一年もまた 幸せに過ごせますように

石川町で50年三代にわたり門松づくりを行う水野さん宅では、11月から材料の準備が始まります。「松葉や土台に使う稻わらは専門の業者から仕入れますが、竹取りは近隣の山に入り、一本一本自分で切り出します。一年を祝う大切な縁起もの。竹も松も新鮮で若々しく傷や傷みのないものにこだわっています」。作るのは毎年約1500本。竹取りだけで一ヶ月を要します。そして12月の声を聞くと本格的に製作がスタート。一家に地元の人たちの手をあわせて総勢20名強が、寒さが深まるなか手際よく作業を進めます。

「基本モチーフは松竹梅。でも地域や作り手で形は違うしアレンジで見た目も変わる。うちのは15段きつちり詰まつたコモ巻きが特徴なんです」。過去には特注で5mを超えるものを手掛けたこともあるそうですが、毎年ほぼ100%市場に出荷するため、最終的にどこに行きつくかは定かではないそう。それでもネットを通して、有名どころでは柴又の帝釈天や増上寺などの門松を目にすることがあります、「うちの門松だ」と気づくことも多いとか。「門松はコロナ禍でも需要が減りませんでした。幸せになりたいという人の願いが形になつた縁起ものだから、多くの人に関心を持つてほしい」と水野さん。その想いは3代目の息子さんに受け継がれてきます。

門松

kado matsu



12月13日以降の
大安に立て
1月7日までの
松の内まで飾る

青々とした立ち姿を見るだけで、いやがうえにも「新しい年がやってくるなあ」と期待感が高まる正月飾り・門松。けれど「何のために?」「飾るのはいつからいつまで?」「誰がどうやって作ってる?」等々、縁起ものということ以外は門松について知らない人が多いのでは?令和8年、良い一年を迎えるため改めておさらいしましょう。



**松は千歳を契り
竹は万代を契る**

門松は竹や松のほか、新春を告げる梅の花などがありますが、そもそもは「門」に立てる「松」が起これ。冬枯れしない常緑の松は、不老長寿の象徴として年神様が宿る木とみなされていました。ちなみに年神様とはご先祖のことです。正月にお迎えすれば新たな年に幸福をもたらしてくれると言われています。門口の松は年神様(リゴ先祖様)が宿る場所であり、家まで迷わずに来ていただけの目印でもありました。

この風習は平安時代に始まり、鎌倉時代に成長や繁栄をあらわす竹が加わって現在の型につながったといわれています。

門松を立てるのは、東日本では一般的に正月事始めの12月13日から松の内の1月7日まで(関西では小正月15日まで)。かつてのよう、門松を玄関先に飾る家庭はあまり見られなくなりましたが、それでも年末が近づくと店舗やビル、旅館の玄関先、神社やお寺の門口には立派な門松が登場します。



松の枝は竹を囲むように
バランスよく



奇数は縁起が良い数とされ、
7・5・3の比率で3本の竹を立てる



切り口を
左右内側に立て
神様の居場所を
つくる



松

永遠の命を
象徴する
神様が宿る木



梅

梅の花を
かたどった
結び目



竹

長寿や
象徴的生命力の



**新しい一年もまた
幸せに過ごせますように**

石川町で50年三代にわたり門松づくりを行う水野さん宅では、11月から材料の準備が始まります。「松葉や土台に使う稻わらは専門の業者から仕入れますが、竹取りは近隣の山に入り、一本一本自分で切り出します。一年を祝う大切な縁起もの。竹も松も新鮮で若々しく傷や傷みのないものにこだわっています」。作るのは毎年約1500本。竹取りだけで一ヶ月を要します。そして12月の声を聞くと本格的に製作がスタート。一家に地元の人たちの手をあわせて総勢20名強が、寒さが深まるなか手際よく作業を進めます。

「基本モチーフは松竹梅。でも地域や作り手で形は違うしアレンジで見た目も変わる。うちのは15段きつ切り詰めたコモ巻きが特徴なんです」。過去には特注で5mを超えるものを手掛けたこともあるそうですが、毎年ほぼ100%市場に出荷するため、最終的にどこに行きつくかは定かではないそう。それでもネットを通して、有名どころでは柴又の帝釈天や増上寺などの門松を目にすることがあります、「うちの門松だ」と気づくことも多いとか。「門松はコロナ禍でも需要が減りませんでした。幸せになりたいという人の願いが形になつた縁起ものだから、多くの人に関心を持つてほしい」と水野さん。その想いは3代目の息子さんに受け継がれてきます。



竹は2~3年生で、外皮は青々と鮮やか。
内皮はつやのある乳白色



丁寧に土を突き、
竹をしっかりと垂直に

門松

kado matsu



12月13日以降の
大安に立て
1月7日までの
松の内まで飾る

青々とした立ち姿を見るだけで、いやがうえにも「新しい年がやってくるなあ」と期待感が高まる正月飾り・門松。けれど「何のために?」「飾るのはいつからいつまで?」「誰がどうやって作ってる?」等々、縁起ものということ以外は門松について知らない人が多いのでは?令和8年、良い一年を迎えるため改めておさらいしましょう。

伝統的な自然の素材にこだわった門松づくりを続ける水野さん親子。SNSなどで自作を見かけるたび、「大変でも求められている」とやりがいを感じるそうです。

門松を立てるのは、東日本では一般的に正月事始めの12月13日から松の内の1月7日まで(関西では小正月15日まで)。かつてのよう、門松を玄関先に飾る家庭はあまり見られなくなりましたが、それでも年末が近づくと、店舗やビル、旅館の玄関先、神社やお寺の門口には立派な門松が登場します。

**松は千歳を契り
竹は万代を契る**



松の枝は竹を囲むように
バランスよく



奇数は縁起が良い数とされ、
7・5・3の比率で3本の竹を立てる

